

# 高知憲法速報

209 2009.9.13

発行：高知憲法会議事務局 088 - 872-3406

編集人 事務局 徳弘嘉孝

## 9・9全国一斉「9の日宣伝」東京新宿など

9が3つそろった2009年9月9日憲法改悪反対共同センターが呼びかけた「9の日宣伝」が全国500か所以上で取り組まれました。(高知県では取り組めず)

東京では、JR新宿駅西口で、新婦人、民青、民医連、憲法会議、農民連、全商連、全労連など18団体から72人が参加して今年2回目の合同宣伝を行いました。チラシ1700枚、ティッシュ1850個を配り、憲法署名107筆、核廃絶署名102筆、カンパ2500円が集まりました。新婦人、民青同盟、東京民医連、自由法曹団、都教組、農民連、東商連、全労連の8人の弁士が宣伝カーから訴えました。

大阪市中央区の南御堂・東本願寺難波別院では、大阪宗教者9条の会が呼びかけて平和の鐘をつき、交流しました。真宗大谷派瑞興寺・清秀顕住職が「お釈迦様の『殺すな』の教えを具体的に表現しているのが憲法9条」と強調。09年9月9日午前9時9分、難波別院の儀式担当者らが平和の願いを込めて9回鐘をつきました。交流会には難波別院のほか、日本山妙法寺大阪道場、大法教団本部、カトリック大阪大司教区、日本キリスト教団大阪教区が参加。日蓮宗や天理教などの信者らでつくる九条の会、平和の会も加わっています。鐘つきは全国各地で実施されました。

滋賀県大津市の日吉9条の会と、しが健康友の会は9日、憲法9条を守りたいとの願いをこめて、土に戻る環境対応型の風船100個を飛ばしました。今回が3回目です。「NO WAR 憲法9条でいこう」と記された風船には「憲法9条は世界の宝」「核兵器のない世界を」などと書かれた短冊が付けられ、会の電話番号も書かれています。この日は毎月9日に開く「9条喫茶」の日。参加者に9条の会の署名を呼びかけ、短冊に平和の思いを書いてもらいました。

## 「安保健衛懇」の報告書について

首相の諮問機関である「安全保障と防衛力に関する懇談会」(会長・勝俣恒久東京電力会長)は8月4日、

1月以来の審議の報告書を麻生首相に提出しました。これまでこうした「懇談会」は「防衛計画大綱」見直しの年ごとに設置され、その報告書の内容は政府の作成する「大綱」に反映されてきました。今年も、12月には「大綱」の見直しが行われる予定ですが、「大綱」を決定するのは内閣です。今回の「政権交代」で新しい「防衛計画の大綱」がどのようなものになるか不透明で、今後厳しい監視が必要です。

具体的な内容では「専守防衛」を維持するかどうかさらに議論しなければならないとしています。

停戦合意、受け入れ同意、中立性確保などのPKOへの現在の参加要件を緩和し、PKO参加拡大を図る。

「活動を行う国際的枠組み、参加する活動の範囲、武器使用基準、国会の関与の在り方などを規定した恒久法の早期制定」(「海外派兵・武力行使恒久法」の制定)

安倍首相が設置した「安全保障の法的基盤の再構築に関する懇談会」(「安保法制懇」)報告書の内容を取り入れ、禁止される集団的自衛権の範囲を縮小する。

「安保法制懇」が打ち出した「米国に向かうミサイルの迎撃」「米艦船の防護」を可能とする為、解釈の見直しを含めた法制度の整備。

武器輸出3原則の緩和。

これまで9条破壊の政策に対する国民の厳しい批判を受け、拡大解釈の「歯止め」とされた事項への総攻撃であり、これが認められるならば「解釈改憲」が一気に進むことになります。

## 憲法講座・憲法会議拡大常任幹事会 東京

憲法会議(中央)は情勢を深くとらえ、出足早くたたかいを展開するため、10月3日「2009年憲法講座」を開きます。テーマは「新しい政権とたたかいの方向」で、講師は杉原泰雄(一橋大学名誉教授)、山田朗(明治大学教授)、日本共産党国会議員。会場は専修大学・神田校舎です。前日の10月2日には憲法会議の拡大常任幹事会が開かれます。総選挙の結果を踏まえ、憲法をめぐる情勢についての認識を共有するとともに、今後の運動の在り方について討議を深めます。高知でもこの会議の内容をもとに代表委員・幹事合同役員会を計画しています。

9月19日(土)は「高知憲法会議」と「こうち九条の会」合同の街頭宣伝署名活動です。1:30~帯屋町